

システム診断レポート

本レポートはご提示いただきましたシステムのデータを弊社検証環境で復元し、診断を実施した結果です。弊社では以下の観点から診断を実施しています。

- Drupalによる標準的なシステム構築を逸脱する実装や設定がされていないか。
- 将来的にアップデートに対応しやすい構成になっているか。
- サポート切れや不安定版などのモジュールが使用されていないか。
- セキュリティや権限の設定がDrupalのベストプラクティスに則っているか。

本レポートに関しまして

本レポートの内容

本レポートは別紙「診断項目一覧」に記載された項目の内、特に重要と判断される事柄についての概要をまとめたものです。本レポートをご一読した後に、各項目の詳細をお読みください。

本レポートの範囲

弊社の検証環境で診断を実施しているため、サーバー設定やパフォーマンスなど、本番の稼働環境に依存する事柄につきましては本レポートの対象外とさせていただきます。また、システムの挙動や実装において、御社の運用体制や業務のフローに依存する部分など、弊社で完全に把握する事が困難な事柄につきましては、弊社が想定する一般的なDrupalの利用例を前提として診断を実施させて頂いております。ご理解の旨よろしくお願い致します。

基本情報

ご依頼者様	〇〇〇〇〇〇 様
診断システム	http://〇〇〇〇〇/
レポート提出日	〇〇〇〇年〇月〇日

診断結果

メンテナンス性

本来のDrupalの機能を利用してない実装があります

メニューやコンテンツの一部がテンプレート内でハードコーディングされています。そのため、管理画面からこれらを変更することができません。現状では変更の際には都度、テンプレートのコードを編集する必要があります。通常ではDrupalが提供するブロックやメニューシステムを利用して実装されるべきであり、これはサイトを運営する上で好ましい実装ではありません。

コンテンツの内容に依存する実装があります

テンプレート上にハードコーディングされたコンテンツに依存する実装が多数見受けられました。そのため、コンテンツのタイトルやURLが変更された場合に不具合を生じる可能性があります。Drupalを含めたCMSでは一般的にコンテンツのタイトルや本文、URLなどを編集者が動的に編集する事が可能です。そのため、これらの内容が変更された場合にも問題が生じない実装をする必要があります。

CSSやJavascriptなどのリソースが正しい方法でサイトに組み込まれていません

リソースがテーマにアセットとして実装されておらず、Asset injectorモジュールを利用して挿入されています。これらはデータベース上に保存されるため、リソースがソースコードとしてバージョン管理されていません。また、これらのリソースはURLを基準として挿入されているため、コンテンツのURLが変更されると不具合を生じる可能性があります。

不使用モジュールが有効化されています

使用されていないモジュールが有効化されています。サイトのパフォーマンスの観点やアップデート時のトラブルのリスクの低減の観点からも、不使用のモジュールは無効化すべきです。

安定版でないモジュールが使用されています

安定版ではないモジュールが1つ検出されました。

安定版ではないモジュールの使用は思わぬ不具合の原因や、アップデートの失敗につながる可能性があります。また、これらはdrupal.orgのセキュリティメンテナンスの対象外です。そのため、安定版のモジュールを使用すべきです。

モジュールのリリースステータスを示すルールにつきましては、以下のリンクをご参照ください。

Release naming conventions <https://www.drupal.org/node/1015226>

セキュリティ

独自実装された問い合わせフォームに脆弱性が存在します

問い合わせフォームがDrupalの機能を使わずに独自のPHPファイルで実装されています。Drupalとは独立した実装になっているため、管理画面から一切変更ができない実装になっております。また、弊社の検証環境での調査の結果、連続して大量のメールを送信可能な脆弱性が発見されました。詳細につきましては、別紙「診断項目一覧 No.12」をご参照ください。

管理用ユーザー（user=1）が有効になっています

サイト内に存在するユーザー、adminはDrupalをインストール時に自動で生成される特別な権限を持つユーザーです。Drupalの大幅なアップデート時以外の通常の使用においてはセキュリティ上の観点からブロック状態にする事が推奨されています。詳細につきましては、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.drupal.org/node/947312>

結論

一般的なサイトの運用に支障をきたす実装が多数あり、早急に対処が必要です。メンテナンスおよびセキュリティの観点からも問題のある実装が随所に確認されました。

Drupalの基本的な機能や開発ルールに関する知識の乏しい開発者が開発したシステムのように見受けられます。

今後、システムを継続的に運営していく上で、コンテンツの変更やDrupalのアップデートを実施した場合に不具合が多数生じることが予見されます。また、現状ではそれらの不具合を修正するために、都度、開発者に改修を依頼する必要があります。そのため、サイトを運営する上でコストが増大します。

これらの問題を改善する方法としては、以下の3つの方法がございます。

1. 現状のサイトを改修する。
2. サイトを新規に開発する。

1.現状のサイトを改修する

診断結果の通り、Drupalの標準的な機能や開発手法に基づいていない設計が多数ございます。これらを全て改修するとなりますと、「2.サイトを新規に開発する」と同様かそれ以上のコストがかかると思われます。そのため、弊社では現状のサイトの改修はお勧めしません。

2.サイトを新規に開発する

Drupalによる豊富な開発経験のある会社に依頼することをお勧めします。

また、それに際し、以下を事前に明確にしてから開発をすすめることを推奨します。

1. コンテンツを変更してもデザインや機能が破綻しないようにサイトを設計することを仕様として明確に定義する
2. レスポンシブ対応などのデザイン面での要件も明確に仕様として定義する

以上